

岩手銀行ソーシャルメディア利用規約

岩手銀行ソーシャルメディア利用規約（以下、「本規約」といいます）は、株式会社岩手銀行（以下、「当行」といいます）が運営するソーシャルメディア公式アカウント（以下、「公式アカウント」といいます）およびそれに付随するサービス（以下、まとめて「本サービス」といいます）をご利用いただく際の取扱いを明記したものです。本サービスをご利用いただく場合は、本規約をよくお読みいただき、ご同意のうえご利用いただきますようお願いいたします。

第1条 本規約の適用範囲および変更

1. 本規約は、本サービスを利用するすべての利用者（以下、「利用者」といいます）に適用されるものとします。
2. 利用者が本サービスを利用した場合、本規約を承諾したものとみなします。
3. 当行は、利用者の事前の承諾および事後の通知を要することなく、本規約を変更することができるものとし、変更後の本規約は、当行ホームページに掲載された時点よりその効力を生じるものとします。
4. 本規約に定めのない事項および本規約と内容が異なる事項については、当行が運営する公式アカウントの各々のソーシャルメディアが定める利用規約等が優先して適用されるものとします。

第2条 公式アカウントの運営について

1. 本サービスは、当行の公式アカウントを利用される全ての利用者に向けて当行から各種情報を発信し、関連するサービスを提供することを目的として運営されるものです。
2. 本サービスの利用の際に必要なパーソナルコンピュータ、携帯電話、通信機器、オペレーションシステム、通信手段および電力等は、利用者の責任で管理および負担していただきます。
3. 当行の公式アカウントの内容は、利用者に事前に通知することなく、必要に応じて随時全部または一部を変更、または終了することがあります。ただし、当行は、公式アカウントの内容を適時に更新することをお約束するものではありません。
4. 当行の公式アカウントの運営時間は、平日（土曜日、日曜日、祝日、振替休日、および年末年始以外の日）の9時から17時までとします。ただし、これ以外の日時においても公式アカウントを運営することができるものとします。
5. 公式アカウントに対するコメント等については以下のとおり取扱うこととします。
 - (1) 当行の公式アカウントに対する利用者からのコメント等については、自動応答で返信される場合を除き、原則として返信いたしません。
 - (2) 当行の公式アカウントに寄せられた投稿やコメントは、公開情報とみなします。
 - (3) 当行の公式アカウントに対するコメント等は、投稿した利用者の責任で発信されるものですので、当行は一切の責任を負いかねます。また、利用者からのコメント等について、当行として何ら支持、承認を表明するものではなく、また当行の見解を表しているものでもありません。
 - (4) 「第4条 禁止事項」に該当する行為に基づくコメント等が当行の公式アカウントに掲載された場合、当行は当該コメントを予告なく削除、当該利用者による当行の公式アカウントの利用停止、その他必要な措置をとることができるものとします。

第3条 基本情報へのアクセスについて

1. 当行は、各ソーシャルメディアが定める利用規約に基づき許容される範囲において、利用者の名前やプロフィール、写真、性別および友だちリスト等、利用者のソーシャルメディアアカウント上で公開しているすべての基本情報へアクセスすることができるものとします。

2. 当行は、利用者から個人情報を取得した場合は、当行の「お客さまの個人情報の取扱いについて」に基づいて取扱うものとします。

第4条 禁止事項

1. 利用者は、本サービスを利用するにあたり、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 当行の公式アカウントの運営を妨げる行為
 - (2) 当行または第三者に不利益、損害、迷惑を与える行為、または与える恐れがある行為
 - (3) 当行または第三者、およびその商品・サービスを誹謗中傷する行為
 - (4) 当行または第三者の著作権、商標権、その他知的財産権を侵害する行為、または侵害する恐れがある行為
 - (5) 本人の承諾なく個人情報を掲載する等、第三者のプライバシーを侵害する行為
 - (6) 政治活動、選挙活動、宗教活動、またはこれらに類似する行為
 - (7) 法令や公序良俗に反する行為、または反する恐れがある行為
 - (8) 有害、わいせつ、暴力的な表現の掲載、その他利用者が不快と感じる可能性のある行為
 - (9) 犯罪に結びつく行為、または結びつく恐れがある行為
 - (10) 当行を含む第三者になりすます行為
 - (11) 各ソーシャルメディア運営会社が禁止している行為
 - (12) その他当行が不適切と判断する行為
2. 利用者の行為により当行に損害が生じた場合、当行は当該利用者に対して損害賠償を請求することができます。

第5条 知的財産権の取扱い

1. 当行が運営する公式アカウントに表示される情報の著作権、商標権、その他一切の知的財産は、当行もしくは著作権者等の権利者に帰属するものとします。
2. 利用者は、当行の公式アカウント上にある情報を、権利者の承諾を得ることなく知的財産権に関する法律で定められた範囲を超えて利用してはならないものとします。
3. 利用者は、当行の公式アカウント上に情報発信を行った場合、当該情報のうち知的財産権で保護されているものを、全世界で、非独占的に、無償で使用する権利を当行に対して許諾したものとし、当行に対して当該情報にかかる知的財産権を行使しないものとします。
4. 利用者が、前各項に違反して権利者等の第三者との間で問題が生じた場合、自己の責任と費用においてその問題を解決するものとします。

第6条 免責事項

1. 当行の公式アカウントから発信する情報は、必ずしも当行の公式発表・見解を表すものではなく、当行がその正確性、完全性、有用性について保証するものではありません。
2. 当行の公式アカウントから発信する情報は、発信時点のものであり、その後変更されることがあります。また、当該情報は、当行が発信する情報の一部であり、当行の公式アカウントからは発信されない場合があります。
3. 当行は、当行の公式アカウント上に公開されている情報を、予告なく変更、削除することがあります。また、当行はやむを得ない事由により、予告なく、ソーシャルメディアの公開を中断または中止することがあります。
4. 当行は、当行の公式アカウントへのご質問等に対し、回答する義務を負いません。
5. 当行は、利用者が当行の公式アカウントを利用したこと、または利用できなかったことによって生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。

6. 当行の公式アカウントに関連して、利用者間または利用者と第三者の間で紛争（利用者が発信した情報に関連するものを含みますが、これに限られません）が生じた場合、利用者が自己の責任で当該紛争を解決するものとし、当行は一切責任を負いません。
7. 当行の公式アカウントは、各ソーシャルメディアの提供企業のシステムによって運用されており、当行はソーシャルメディアの機能や安全性に関していかなる保証をするものではありません。また、ソーシャルメディアのシステム運用状況、利用方法、技術的な質問等に対して、当行は回答の義務を負いません。

第7条 準拠法・管轄

本規約の準拠法は日本法とします。本規約に関する訴訟については、盛岡地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以 上
(2019年2月1日現在)